

第2分科会

「環境教育をととした生物多様性の実現
【環境カウンセラーの継続研鑽】」

一般財団法人 九州環境管理協会
環境部陸生生物調査課
課長 藤井 暁彦 氏

環境教育をととした生物多様性の実現

【環境カウンセラー継続研鑽】



講演の内容

1. 教育のポイント（私が気を付けていること）
2. 環境教育の事例（私の体験）
3. 生物多様性を伝えていくことの課題

1 教育のポイント

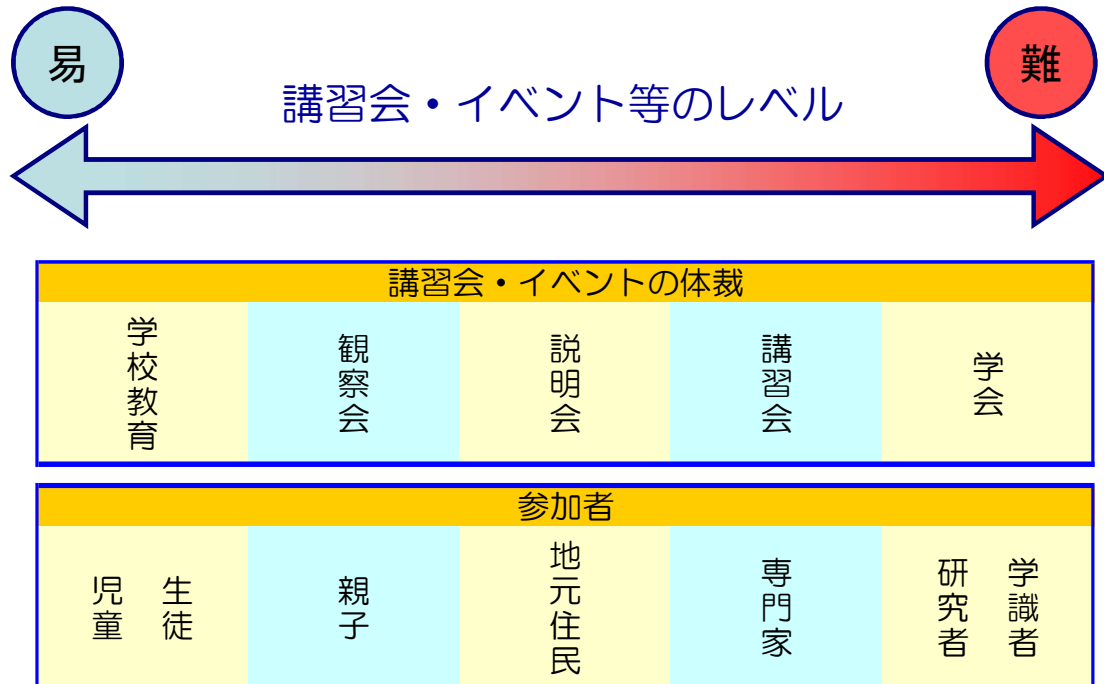
1 教育のポイント

私が気を付けていること

- 相手に合わせる（子供・大人）
- 時事ネタ、新たな情報、関心事を取り込む
- わかりやすいことの中に、ちょっとだけ難しいことを入れる

1 教育のポイント

相手に合わせる



5

1 教育のポイント

相手に合わせる

易しい（素人向き）	難しい（プロ向き）
鳥の巣があるところ 鳥が子育てをるところ	鳥類の繁殖場
アオサはとても早く大きくなる	アオサの成長速度が速い
いろいろな生きものが、すめるようにする	種の多様性の保全



一般の人には、訓読み（やまとことば）がいいですね。

6

1 教育のポイント

時事ネタ、新たな情報、関心事を取り込む

「いつも勉強」研鑽の継続

- 再生可能エネルギー、太陽光発電・風力発電
- 生物多様性国家戦略、ビオトープ
- パズドラ、AKB



これも相手の立場（関心）に
合わせないとダメですね。

7

1 教育のポイント

ちょっとだけ難しいことを入れる

「いつも勉強」研鑽の蓄積

- タカのなかまの「チュウヒ」は国内に数100匹しかおらず、繁殖地は10カ所しか知られていません。
- アオサは、1日で1.3倍ほど成長するので、2週間もすると、はがきの大きさが新聞紙を広げた大きさになります
- コメツキガニは、ゴブリンぐらい普通だけど、シオマネキは、神タイプぐらい珍しい（パズドラに例えて）

8

1 教育のポイント

私が気を付けていること

- 相手に合わせる（子供・大人）
- 時事ネタ、新たな情報、関心事を取り込む
- わかりやすいことの中に、ちょっとだけ難しいことを入れる



**相手のレベル・関心事に合わせる
ことが大事と思っています**

9

2 環境教育の事例

2 環境教育の事例

易しいレベルの環境教育の事例

講習会・イベントの体裁				
学校教育	観察会	説明会	講習会	学会

参加者				
児童 生徒	親子	地元 住民	専門家	研究者 学識者

事例 1

私たちと水の関わり

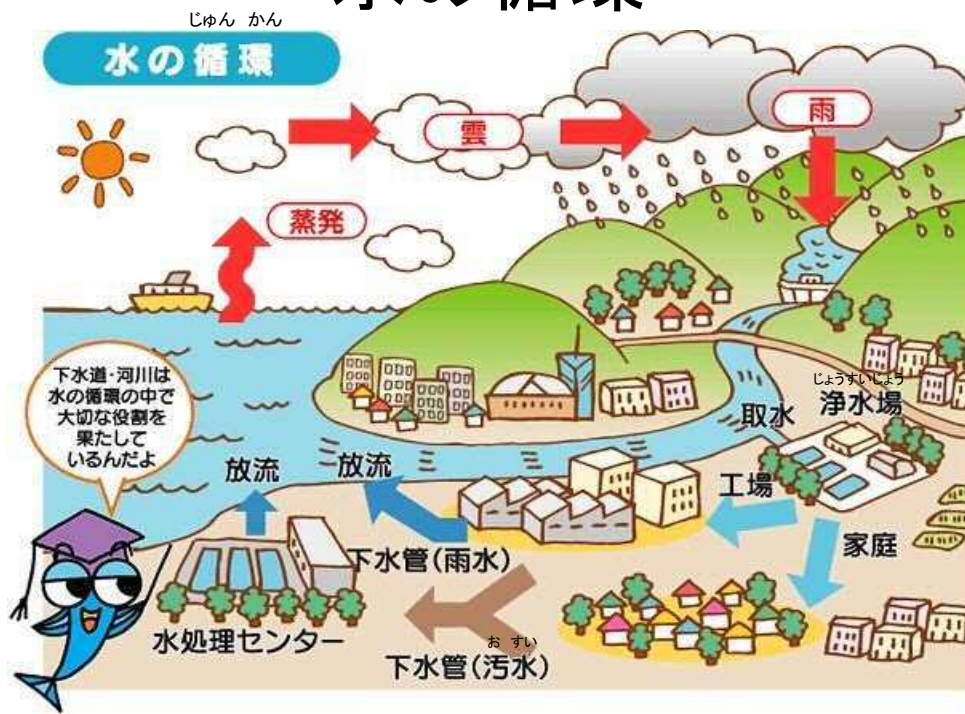
【対象】

- ・小学生（高学年）

【ポイント：ねらい】

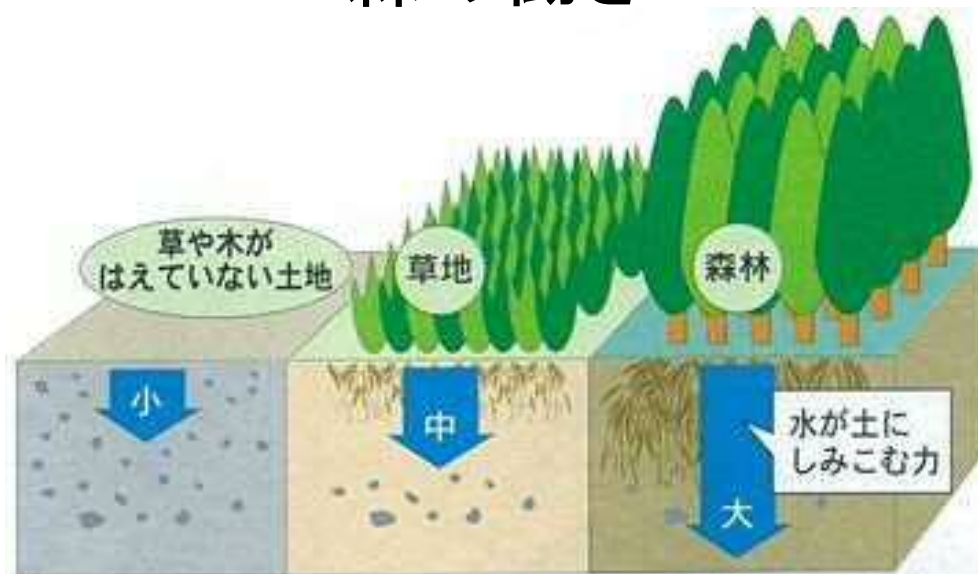
- ・水の循環と森の大切さを知る
- ・水は限られていることを知り、大事にする意識付けをする

水の循環



【出典：福岡市道路下水道局web】

森の働き



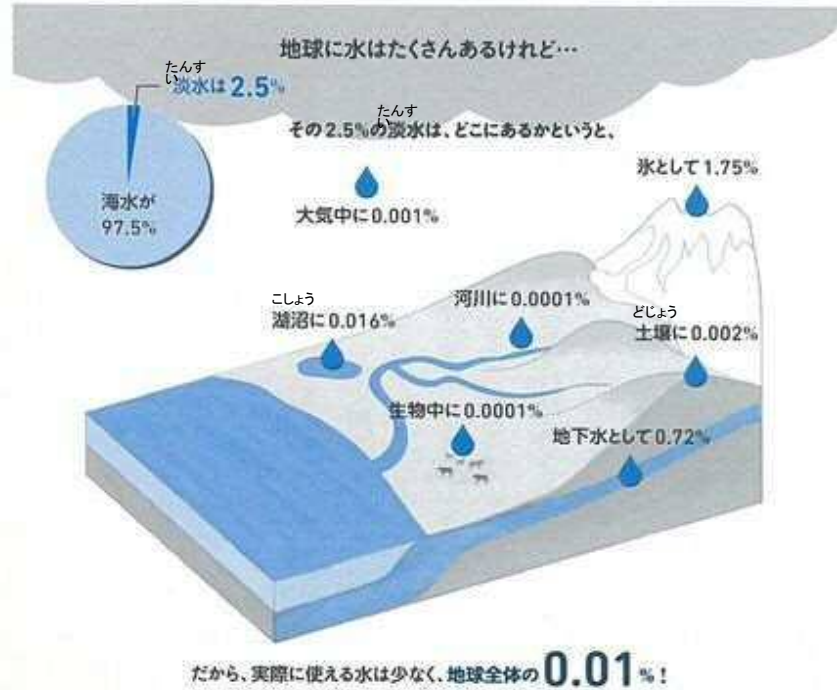
79mm/時間

128mm/時間

258mm/時間

【出典「水とわたしたち」(福岡市)】

地球上にある水と 私たちが使うことができる水(1)



【出典「明日の水は大丈夫？」（橋本淳司）】

15

地球上にある水と 私たちが使うことができる水(2)

地球の水の総量を小型給水車1台分(1t)とすると…



人間が使える水の量は…わずか0.1L
コップ一杯にもなりません。

【出典「明日の水は大丈夫？」（橋本淳司）】

16

1日の水使用量(家の中では・・・)



トイレ1回

➡ 10L =



× 5本



じゃ口から出る水1分間

➡ 12L =



× 6本



洗たく1回

➡ 70L =



× 35本

【出典「明日の水は大丈夫？」(橋本淳司)】

1日の水使用量(家の中では・・・)



すいじ
炊事1回

➡ 60L =



× 30本



お風呂1回

➡ 200L =



× 100本



シャワー1回

男性は
➡ 80L =



× 40本

女性は
➡ 90L =



× 45本

【出典「明日の水は大丈夫？」(橋本淳司)】

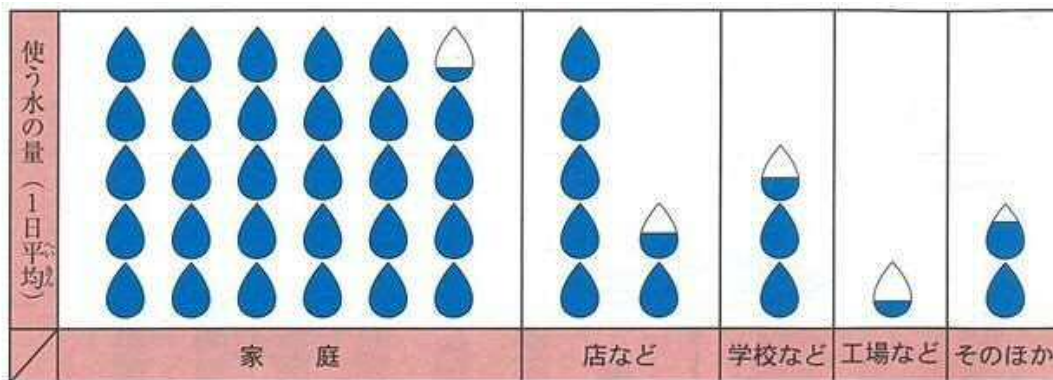
1日の水使用量(家の中では・・・)

目的	使う水の量
トイレ1回	10L
水道のじゃ口から出る水(1分間)	12L
洗たく1回	70L
炊事1回	60L
お風呂1回	200L
シャワー1回【男性】(10分間)	80L
シャワー1回【女性】(12分間)	90L

【出典「明日の水は大丈夫？」(橋本淳司)】

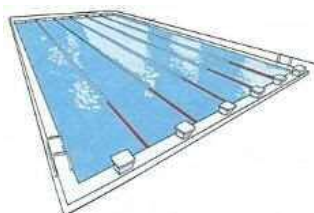
ふく おか し

福岡市全体で1日に使う水の量



(1水滴は1万m³、これは学校のプールやく32はい分の水)

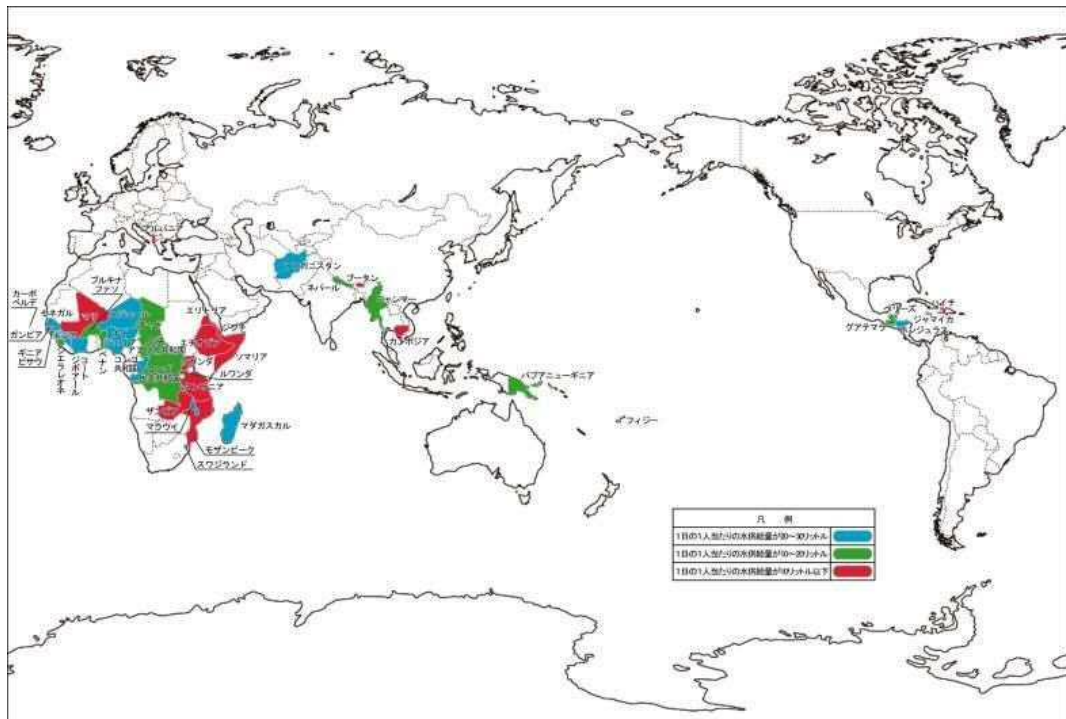
学校の25mプール



× 1,290はい

【出典「水とわたしたち」(福岡市)】

世界の国で1人が1日に使える水の量



【出典「明日の水は大丈夫？」（橋本淳司）】

21

事例 2

干潟の生きもの観察会

【対象】

- ・小学生（高学年）

【ポイント：ねらい】

- ・干潟には、多様な（たくさんの）生きものがあることを知る
- ・干潟で起きていることは私たちの生活も原因になっていることを知る

3つのテーマ

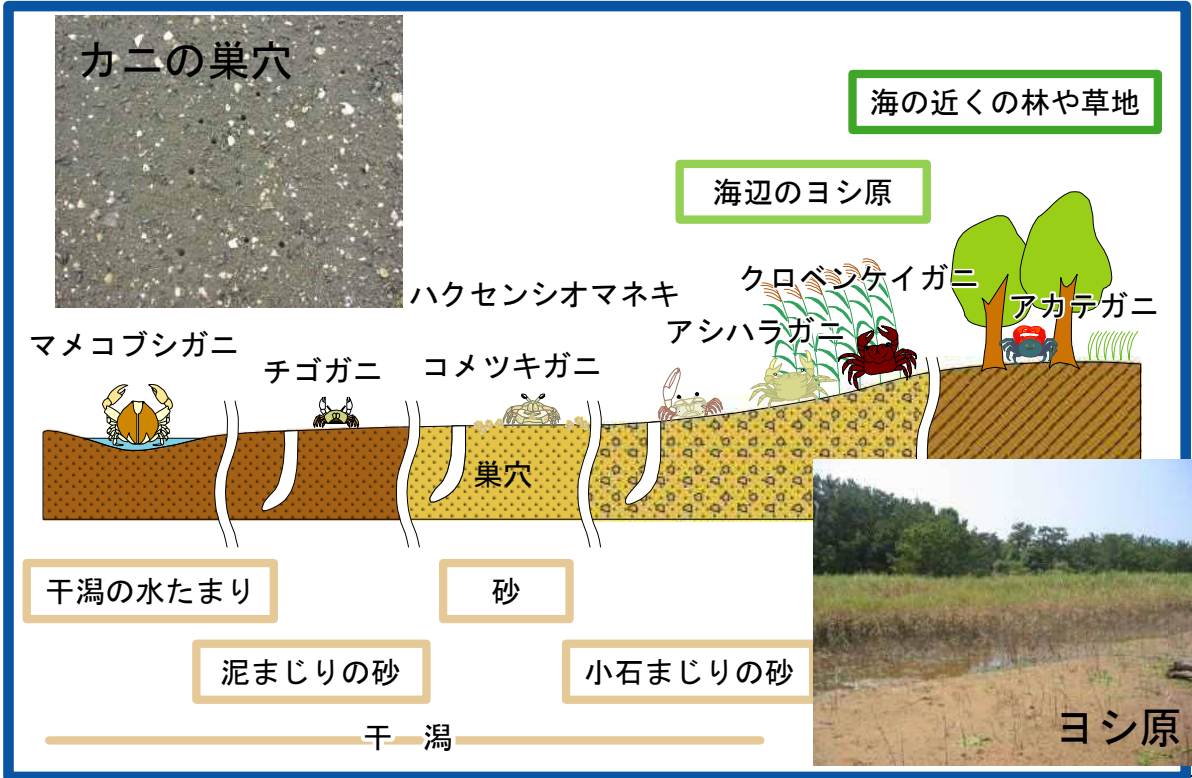
(1) カニ
どんなところにいるか

(2) 干潟の生きもの
どんな種類がいるか， 生きている様子

(3) アオサ
アオサと生きもの， どうしてふえるか

(1) カニ
●どんなところにいるか

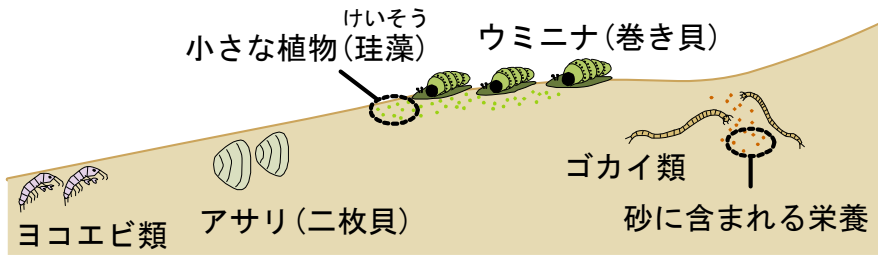
カニがすんでいる様子



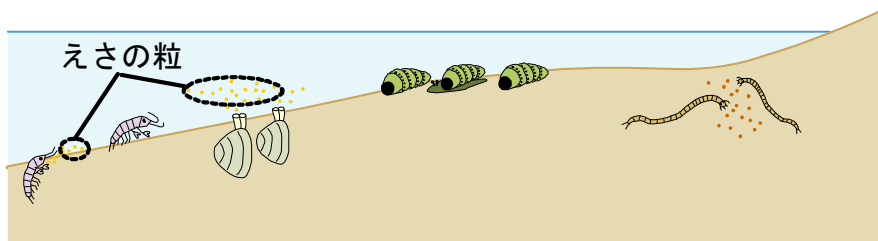
- (2) 干潟の生きもの
- どんな種類がいるか
 - 生きている様子

干潟の生きもの種類と生活のしかた

潮が引いている時

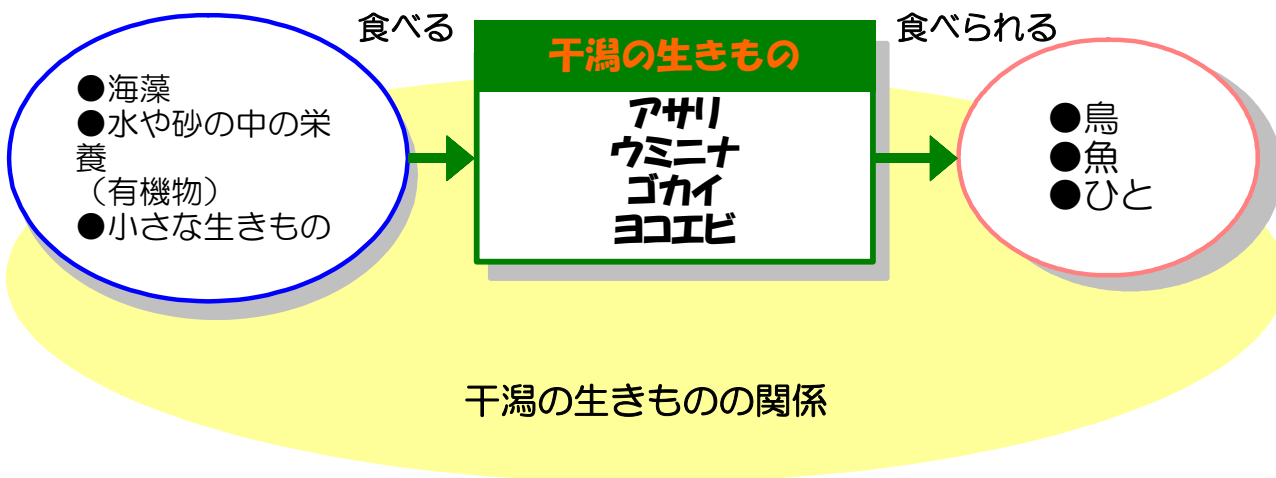


潮が満ちている時



27

干潟の生きものの食べる・食べられる



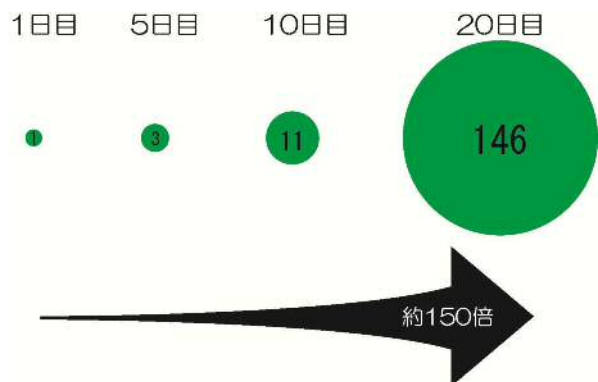
28

- (3) アオサ
- どうしてふえるか
 - アオサと生きもの

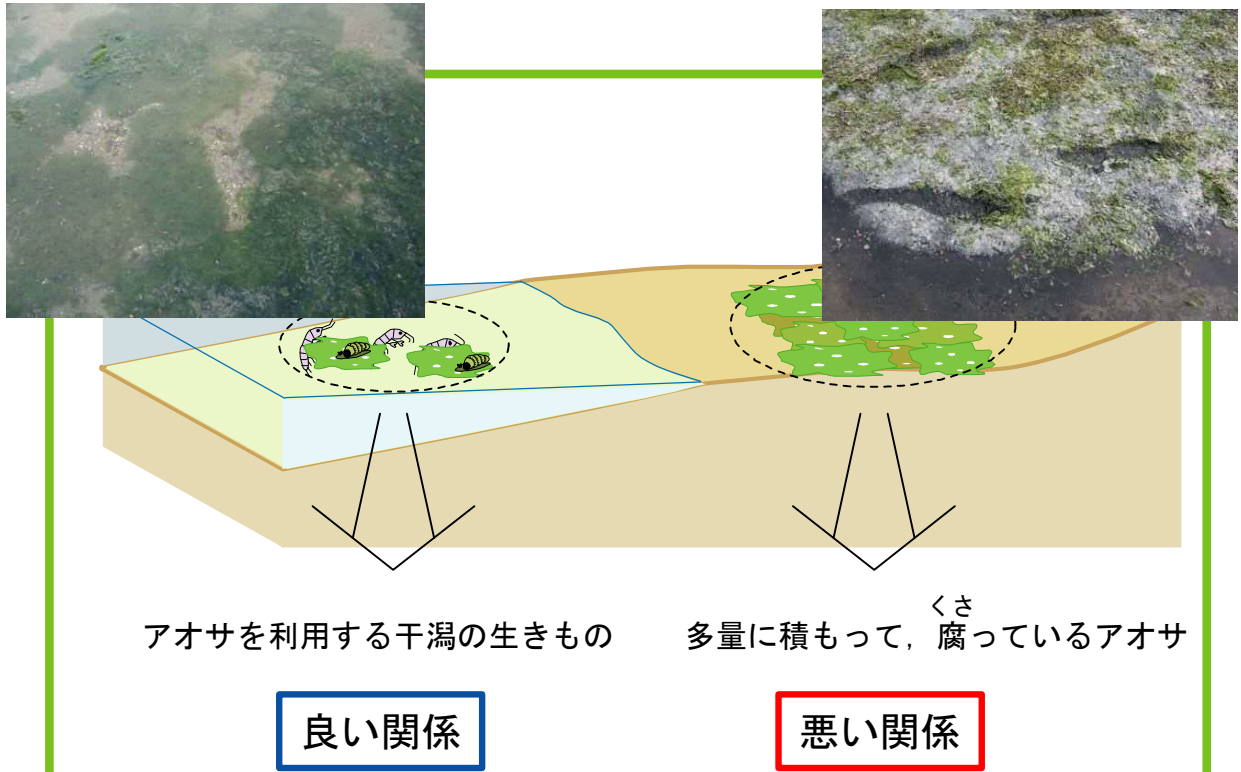
アオサの増え方

1日で1.3倍に成長します。

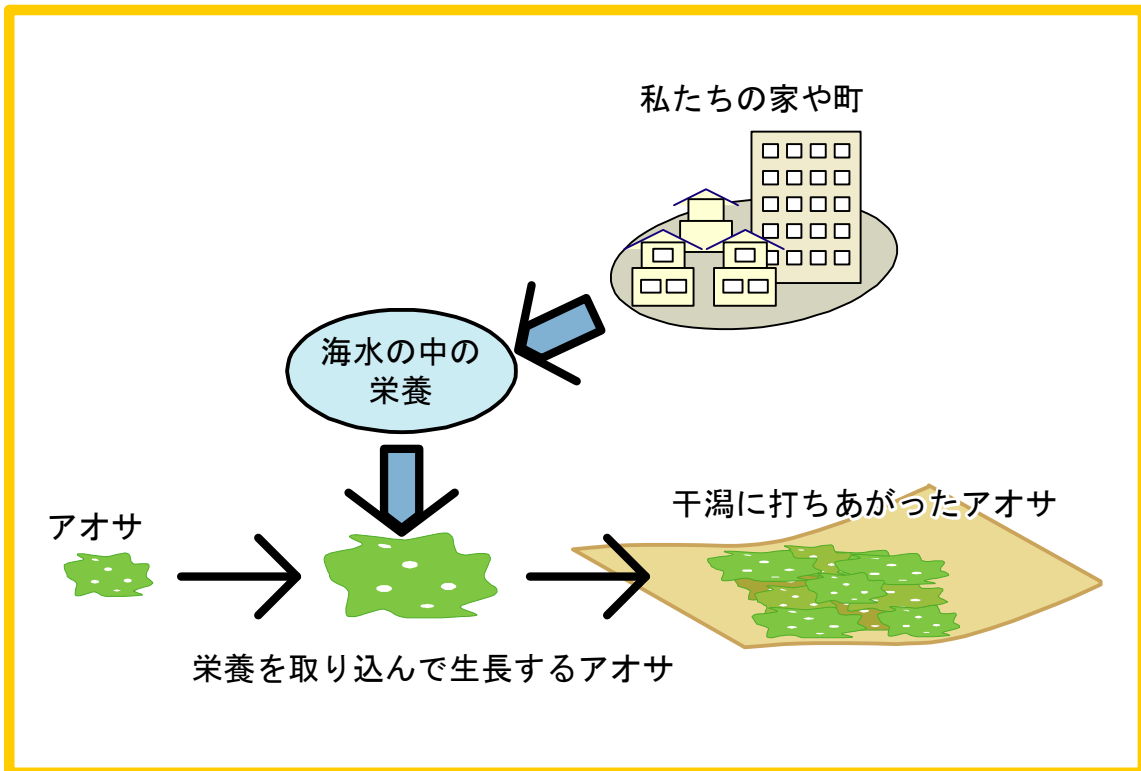
5cm×5cmの小さなアオサが
20日間で、新聞紙を広げた
大きさになります。



アオサと干潟の生きものの関係



アオサのふえる様子



事例3

カエルの保全活動

【対象】

- ・大人（工事業者）

【ポイント：ねらい】

- ・カエルも生態系の一部で大事なことを知る
- ・知ったことを通して、カエル（自然）に目を向けた、自然に優しい工事をする

事例3

生き物の保全について

なぜカエルを守るのか？

生き物の保全について

なぜカエルを守るのか？

- ・カエルの住める場所が減ったから
- ・人為的な理由で、数を減らしてしまったから
- ・カエルを食べる動物(タカ・キツネ)も減るから
→生態系の破壊

いなくなっても困らない

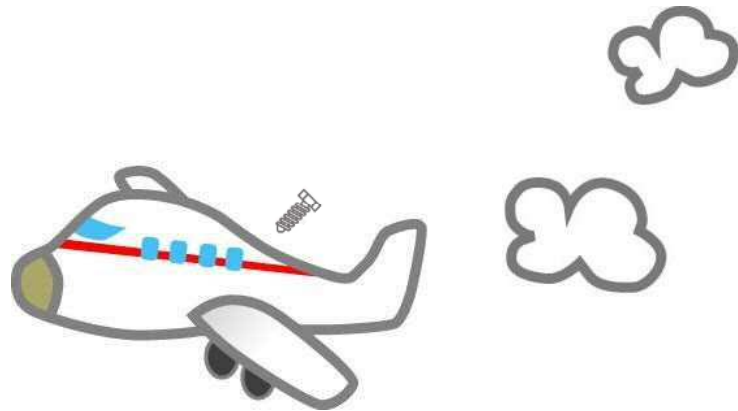
生態系について



すべての生物は、関わりをもって生活している

何かひとつ崩れれば、多くの生物に影響する。

生態系とは（リベット抜き）

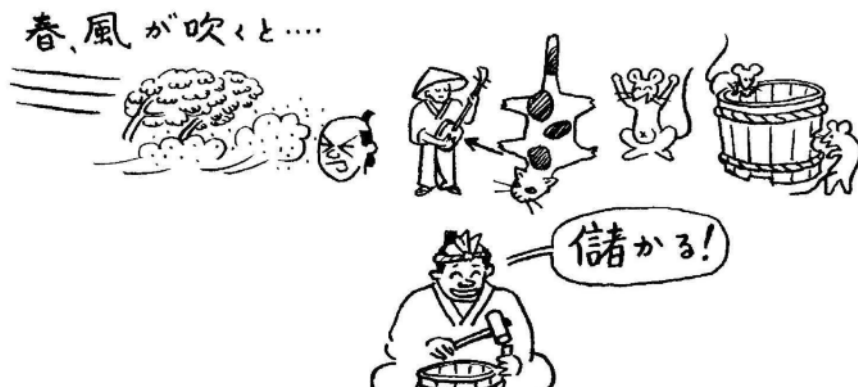


どんな生物種の損失でも、生態系にきわめて重大な損失となる。

37

カエルはいなくてもいいのか？

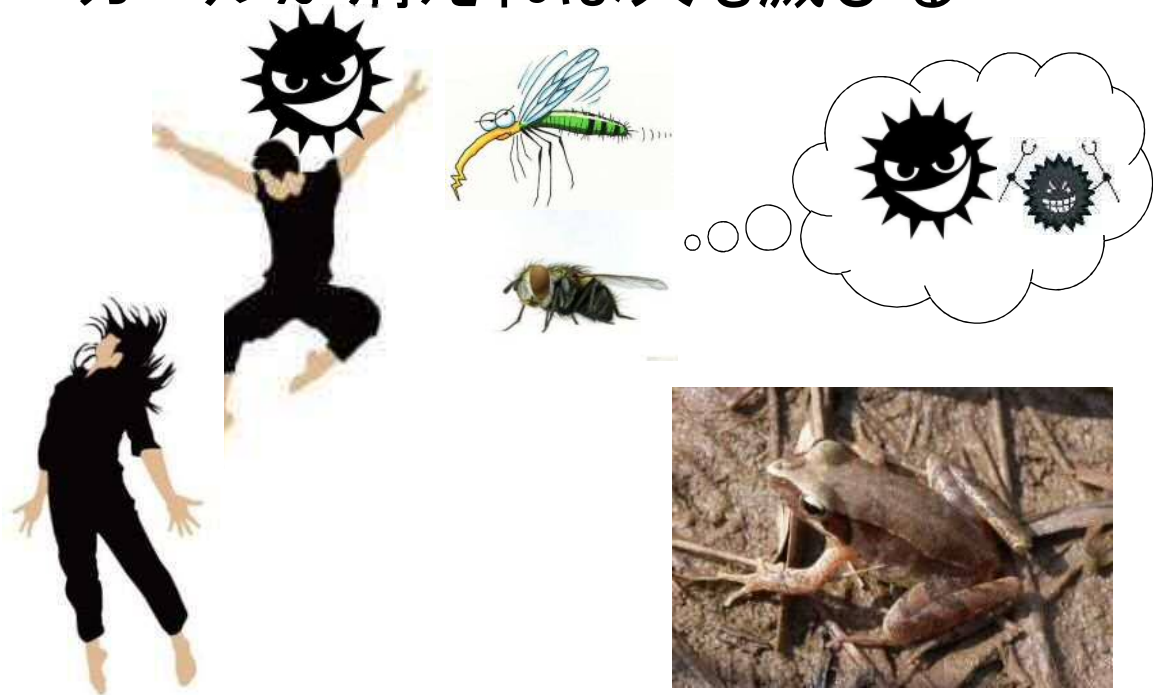
風が吹けば桶屋がもうかる



桶屋は儲かるか？

38

カエルが消えれば人も滅びる



39

カエルはいなくてもいいのか？

- ・フランス人は年間5000万匹のカエルを食べる
- ・1970年代、インドからヨーロッパに多数の食用カエルを輸出
- ・カエルのいなくなった池から、蚊が大量発生
- ・マラリアによる死者が急増
- ・インドはカエルの輸出をやめた

生き物や生態系の保全のために
できることから始めましょう

40

WANTED



DEAD OR ALIVE
FROG·TOAD
500 YEN (QUO CARD)

発見した時の情報

- ・どこ
- ・どんな(親、オタマ、卵) → 要写真 → 事務所



雨期は、カエルの季節です。
皆さんの報告をお待ちしています。

3 生物多様性を伝えていくことの課題

3 生物多様性を伝えていくことの課題



ここからは、皆さんと
考えていきたいです。

- 「生物多様性」そのものの難しさ
- 伝えること（技術・スキル）の難しさ
- 研鑽の難しさ